

医療管理学（不開講）

Health Care Management and Administration

単位数：2単位

○廣瀬昌博 教授：地域医療政策学
熊倉俊一 教授：地域医療教育学
林田賢史 部長：産業医科大学病院医療情報部
伊藤孝史 准教授：内科学第四(腎臓内科)

1. 科目の教育方針

わが国の医療は、国民皆保険、フリーアクセス、低コストの3つの特徴を有しているが、社会保険の枠組みの中で医療が提供されることから、医療は医療政策の動向に大きく左右される。患者は最高の医療を求めるが、国民あるいは行政の視点からは最小コストの医療が求められる。また、わが国の医療は診療報酬制度を基盤としており、限りある医療資源の有効活用の観点から、医師や医療機関がその医療の質を担保しながら、公平・公正で適切な医療提供ができるよう、医療を管理する能力を身につけることが目的である。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) わが国の医療の現状と医療の成り立ちについて学ぶ。
- 2) わが国の医療保険制度・診療報酬体系・介護保険制度について学ぶ。
- 3) わが国の医療提供者である医師と医療施設、患者・国民の関係について学ぶ。
- 4) 医療の質と医療制度の関係について学ぶ。
- 5) わが国の医療管理に関する医療情報技術・医療設備について学ぶ。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) わが国の医療の現状についてその問題点や基本的事項を説明できる。
- 2) わが国の医療・介護保険制度についてその問題点や基本的事項を説明できる。
- 3) わが国の患者と医師・医療施設との関係について説明できる。
- 4) 医療の質、医療施設の外部評価方法を説明できる。
- 5) わが国の医療管理に関する医療情報技術・医療設備の基本的知識について説明できる。

3. 教育の方法、進め方

オムニバス形式を基本とする。

講義は主としてオンラインで行うこととし、Teams 等によるライブ配信を中心にオンデマンドを併用する。講義方法に変更（オンライン⇒対面等）がある場合には都度、連絡を行う。

4. 成績評価の方法

すべての講義と演習が終わった後、規定の出席率（2/3以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

5. 使用テキスト・参考文献

- 1) 今中雄一 編. 廣瀬昌博ら著:「病院」の教科書. 医学書院, 東京, 2010
 - 2) 廣瀬昌博: インシデントレポートに学ぶ『研修医のためのリスクマネジメント講座』—レジデントのリスク感性を磨くエピソード50. 文光堂, 東京, 2007
 - 3) 廣瀬昌博ら 訳, 今中雄一 監訳: 医療安全のエビデンス —患者を守る実践方策—. 医学書院, 東京, 2005
 - 4) 廣瀬昌博: STEP1 医療安全の鍵となる考え方を学ぶ 4ミスを防ぐための対策: 医療安全 小林美亜 編 学研メディカル秀潤社, 東京, pp. 39-53, 2013
- その他、内容に応じて、適宜紹介する。

6. 教育内容

回	授業内容	担当
1	わが国の医療における課題と問題点	廣瀬昌博
2	島根県の地域医療における課題と問題点	熊倉俊一
3	医療・介護・福祉と法的制度	廣瀬昌博
4	医療管理と医療情報学	廣瀬昌博
5	在宅医療と IT	廣瀬昌博
6	医療経済学 特論	今中雄一
7	医療安全管理学総論	廣瀬昌博
8	医療安全管理学各論	廣瀬昌博
9	医療保険制度	廣瀬昌博
10	職員の安全管理	伊藤孝史
11	医療評価と診療録管理	林田賢史
12	高齢者ケアと介護保険制度	廣瀬昌博
13	医療倫理学総論	廣瀬昌博
14	医療の質と医療制度 I	廣瀬昌博
15	医療の質と医療制度 II	廣瀬昌博